

総会資料3 カリキュラムガイドライン改訂案（新旧対照表）

「気象データアナリスト育成講座」について、現行のカリキュラムガイドラインを以下のように改訂する手続きを今後進めます。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shinsei/wda/wda_guideline.pdf

改 訂 後	改 訂 前
改訂案該当ページ：P2	
<p>1. 気象データアナリスト育成講座の目標</p> <p>1)自社のビジネスモデルの理解に加え、リスク、利益、社会的責任の観点から解決すべき課題を発見できるようになること</p> <p>2)様々な<u>国内外</u>の機関が公開している各種気象データの特徴を理解した上で、自社のデータをどのように組み合わせると課題解決に結びつくかについて、仮説を立てられるようになること</p> <p>3)データサイエンスのスキルを使って仮説を検証し、課題解決ができるようになること</p>	<p>1. 気象データアナリスト育成講座の目標</p> <p>1)自社のビジネスモデルの理解に加え、リスク、利益、社会的責任の観点から解決すべき課題を発見できるようになること</p> <p>2)様々な機関が公開している各種気象データの特徴を理解した上で、自社のデータをどのように組み合わせると課題解決に結びつくかについて、仮説を立てられるようになること</p> <p>3)データサイエンスのスキルを使って仮説を検証し、課題解決ができるようになること</p>

改 訂 後	改 訂 前
<p>改訂案該当ページ：P4</p> <p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>1) 気象</p> <p>B. 内容（知識および技能）</p> <p>□気象要素や気象観測・気象予報に関する理解</p> <p>02. 気象観測・気象予報の知識に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。</p> <p><u>•地上気象観測の種類について理解していること。</u></p> <p><u>•高層気象観測の種類について理解していること。エマグラムの読み取りを行うこと。</u></p> <p><u>•気象衛星の観測の種類と測定できる気象要素について理解していること。</u></p> <p><u>•気象レーダーの観測の種類と測定できる気象要素について理解していること。</u></p>	<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>1) 気象</p> <p>B. 内容（知識および技能）</p> <p>□気象要素や気象観測・気象予報に関する理解</p> <p>02. 気象観測・気象予報の知識に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。</p> <p>•気象官署の観測の種類と AMeDAS 観測の種類について理解し、それらの違いを把握していること。</p> <p>•気象衛星観測の種類と、算出できる気象要素について理解していること。</p> <p>•気象レーダー等による観測の種類と測定できる気象要素について理解していること。</p> <p>•高層気象観測とその観測要素について理解し、エマグラムの読み取りを行うこと。</p>

気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドライン改訂（案）新旧対照表

改 訂 後	改 訂 前
改訂案該当ページ：P5	
<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>1) 気象</p> <p>B. 内容（思考力・表現力）</p> <p>□気象データの種類と選択</p> <p>02. 気象データの選択に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。</p> <p>•代表的な気象データの種類を知っており、目的に応じて最適なデータを選定すること。</p> <p>• <u>気 象 庁 情 報 カ タ ロ グ</u> <u>(https://www.data.jma.go.jp/add/suishin/catalogue/catalogue.html)</u> 等から目的に応じて欲しいデータを能動的に探すこと。</p>	<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>1) 気象</p> <p>B. 内容（思考力・表現力）</p> <p>□気象データの種類と選択</p> <p>02. 気象データの選択に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。</p> <p>•代表的な気象データの種類を知っており、目的に応じて最適なデータを選定すること。</p> <p>•気象データカタログから目的に応じて欲しいデータを能動的に探すこと。</p>

気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドライン改訂（案）新旧対照表

改 訂 後	改 訂 前
<p>改訂案該当ページ：P6及びP19 本項中の略語等（GPV、GRIB2、NetCDF、wgrib2）について、改訂案P19に説明や参照URLを記載。</p>	
<p>（P6、本項の修正なし） 3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容 1) 気象 B. 内容（思考力・表現力） □気象データのハンドリング 01. GPV データに関する次の事項を身につけることができるよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • GPV の意味（空間を代表する値）を理解していること。 • GRIB2・NetCDF という、気象分野独特の多次元バイナリデータのフォーマットを理解していること。 • wgrib2 などのソフトウェアを使って GPV データをデコードし、適切に処理すること。 	<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容 1) 気象 B. 内容（思考力・表現力） □気象データのハンドリング 01. GPV データに関する次の事項を身につけることができるよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • GPV の意味（空間を代表する値）を理解していること。 • GRIB2・NetCDF という、気象分野独特の多次元バイナリデータのフォーマットを理解していること。 • wgrib2 などのソフトウェアを使って GPV データをデコードし、適切に処理すること。
<p>（P19） 「(参考) 略語・用語」の表を追加</p>	<p>（新規追加）</p>

気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドライン改訂（案）新旧対照表

改 訂 後	改 訂 前
改訂案該当ページ：P7	
<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>1) 気象</p> <p>C.内容の取り扱い (01～03 略)</p> <p>s04.教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>•内容の（思考力・表現力）の教材は、<u>実際の気象データの活用事例に即したもの</u>やケーススタディ等を用意すること。</p>	<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>1) 気象</p> <p>C.内容の取り扱い (01～03 略)</p> <p>04.教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>•内容の（思考力・表現力）の教材は、実際の気象データ活用事例に即した事例集やケーススタディ等を用意すること。</p>

気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドライン改訂（案）新旧対照表

改 訂 後	改 訂 前
改訂案該当ページ：P10	
<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>2) データサイエンス</p> <p>C.内容の取り扱い</p> <p>(01～03 略)</p> <p>04.教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>•内容の（知識および技能）（思考力・表現力）の教材は、<u>気象データのビジネス活用に関するスキル習得の観点から、気象データを活用するケーススタディを含むこと。</u></p>	<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>2) データサイエンス</p> <p>C.内容の取り扱い</p> <p>(01～03 略)</p> <p>04.教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>•内容の（知識および技能）（思考力・表現力）の教材は、気象データに即したケーススタディに限定しない。</p>

気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドライン改訂（案）新旧対照表

改 訂 後	改 訂 前
改訂案該当ページ：P12	
<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>3) ビジネス</p> <p>C.内容の取り扱い (01～03 略)</p> <p>04.教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>•内容の（思考力・表現力）の教材は、<u>実際の気象データの活用事例に即した</u>ものやケーススタディ等を用意すること。</p>	<p>3. 必要なスキル及びスキルごとのカリキュラム内容</p> <p>3) ビジネス</p> <p>C.内容の取り扱い (01～03 略)</p> <p>04.教材については、次の事項に留意するものとする。</p> <p>•内容の（思考力・表現力）の教材は、実際の気象データ活用事例に即した事例集やケーススタディ等を用意すること。</p>